

2020年4月1日

理工学研究科建築学専攻 履修モデル例

履修モデル A

※建築計画学、建築設計学、建築史学、都市計画学における高度な専門性を有する研究者、設計者又は技術者を目指す場合

科目区分	授業科目	単位	必修/選択 の別	標準履 修年次	備考
基礎科目	(旧・建築計画論) 建築設計スタジオ 2d	2	選択	共通	選択必修 20単位 を含めて 30単位 以上修得 しなけれ ばな らない。
	(旧・人間-環境系のデザイン演習) 建築設計スタジオ 2e	2	選択	共通	
	(旧・建築プロジェクト論) 建築設計スタジオ 1c	2	選択	共通	
	(旧・建築設計実習 A-1) 建築設計スタジオ 1a	4	選択	共通	
	(旧・建築設計実習 A-2) 建築設計スタジオ 1b	4	選択	共通	
	(旧・建築設計実習 B-1) 建築設計スタジオ 2a	4	選択	共通	
	(旧・建築設計実習 B-2) 建築設計スタジオ 2b	4	選択	共通	
	(旧・建築設計実習 C) 建築設計スタジオ 1d	2	選択	共通	
	建築史	2	選択	共通	
	建築の保存修復	2	選択	共通	
	都市解析	2	選択	共通	
	(旧・都市デザイン演習) 建築設計スタジオ 2c	2	選択	共通	
	空間情報演習	2	選択	共通	

	建築実習 1	4	選択	共通
	建築実習 2	2	選択	共通
	建築実習 3	2	選択	共通
専門科目	設計実習・実験・調査 1	5	選択必修	1
	設計実習・実験・調査 2	5	選択必修	1
	修士研究	10	選択必修	2
	修士設計	10	選択必修	2

履修モデル B

※防災リスク管理コース「都市防災特論1」(随意、2単位)を受講可能(修了要件単位には含まれない)。建築環境工学・建築防災工学における高度な専門性を有する研究者、技術者又は設計者を目指す場合

科目区分	授業科目	単位	必修/選択の別	標準履修年次	備考
基礎科目	建築省エネルギー設計論	2	選択	共通	選択必修 20単位 を含めて 30単位 以上修得 しなければ ならない。
	建築環境論	2	選択	共通	
	建築設備論	2	選択	共通	
	建築避難安全設計論	2	選択	共通	
	建築防災設計論	2	選択	共通	
	建築防災計画演習	3	選択	共通	
	建築実習 1	4	選択	共通	
専門科目	設計実習・実験・調査 1	5	選択必修	1	
	設計実習・実験・調査 2	5	選択必修	1	
	修士研究	10	選択必修	2	

履修モデル C

※防災リスク管理コース「都市防災特論1」(随意、2単位)を受講可能(修了要件単位には含まれない)。建築構造学、建築構造力学、建築材料学における高度な専門性を有する研究者、技術者又は設計者を目指す場合

科目区分	授業科目	単位	必修/選択の別	標準履修年次	備考
基礎科目	建築構造工学演習	2	選択	共通	選択必修 20単位 を含めて 30単位 以上修得 しなければ ならない。
	都市経済耐震論	2	選択	共通	
	建築耐震設計特論	2	選択	共通	
	建築振動学特論及び演習	2	選択	共通	
	建築構造設計特論及び演習	2	選択	共通	
	地震工学特論	2	選択	共通	
	建築材料・施工特論	2	選択	共通	
	建築材料設計演習	2	選択	共通	
	実践建築構造工学	2	選択	共通	
	建築実習1	4	選択	共通	
専門科目	設計実習・実験・調査1	5	選択必修	1	
	設計実習・実験・調査2	5	選択必修	1	
	修士研究	10	選択必修	2	

※防災リスク管理コース「都市防災特論1」(随意、2単位)を受講可能(修了要件単位には含まれない)。